

脈々 ^{スピリッツ} 高蔵 魂

(創立者 市邨芳樹のことば)

「^{びょう}渺たる我が一代の働き
何程の事あらん」

自分の死後 10 年もすれば、友人や知己もこの世を去り、30 年、50 年もすれば自分を知る子も孫もいなくなる。残るのは墓碑銘だけとなり、それも風雨にさらされ、消えていく。

名声や財産とは無縁の一代でも、子から孫、人から人、世代から世代へと受け継がれていくものがある。形もなく、眼にも見えないが、それは確かにある。

好しや後世に名誉の残らぬまでも此の世に
生まれ来りたる甲斐あるだけの働きは為した
きものに非ずや。 (「藪椿」12-12)